

# 「平成25年度 公共事業評価調書」

## 佐濃谷川 総合流域防災事業

評価の別： 再々評価	事業箇所(区間)： <small>きょうたんごしくみはまちょうかの かずらの</small> 京丹後市久美浜町鹿野～葛野地内
事業着手年度： 昭和63年度	全体事業費： 15.0億円 (内用地費) (3.5億円)
経過年数： 26年	H25末投資額累計： 11.0億円 (内用地費)： (2.0億円)
完了予定年度： 平成35年度	進捗率(%)： 73% (内用地費) (57%)
部分供用の有無： 有	残事業費： 4.0億円 (内用地費) (1.5億円)



＝ 目 次＝

1. 事業概要.....	佐濃谷川-1
2. 事業の進ちよく状況.....	佐濃谷川-7
3. 事業を巡る社会経済情勢等の変化.....	佐濃谷川-10
4. 事業費の投資効果及びその要因の変化.....	佐濃谷川-11
5. 事業の進ちよくの見込み.....	佐濃谷川-12
6. コスト縮減や代替案立案等の可能性等.....	佐濃谷川-13
7. 良好な環境の形成及び保全.....	佐濃谷川-14
8. 総合評価.....	佐濃谷川-16
■『環』の公共事業構想ガイドライン評価シート.....	佐濃谷川-17
■費用便益分析結果総括表.....	佐濃谷川-19
■参考資料：用語集.....	佐濃谷川-21

# 1. 事業の概要事業の概要

## (1) 流域の概要

佐濃谷川は、京都府京丹後市久美浜町に位置し、高竜寺ヶ岳（標高 696.7m）に源を発し、円頓寺川、長野川、三原川等の支川を併せながら北流し、久美浜町鹿野で2つに分派して久美浜町葛野において久美浜湾に注ぐ、流域面積約 54.2km<sup>2</sup>、流路延長約 19.0km の二級河川である。

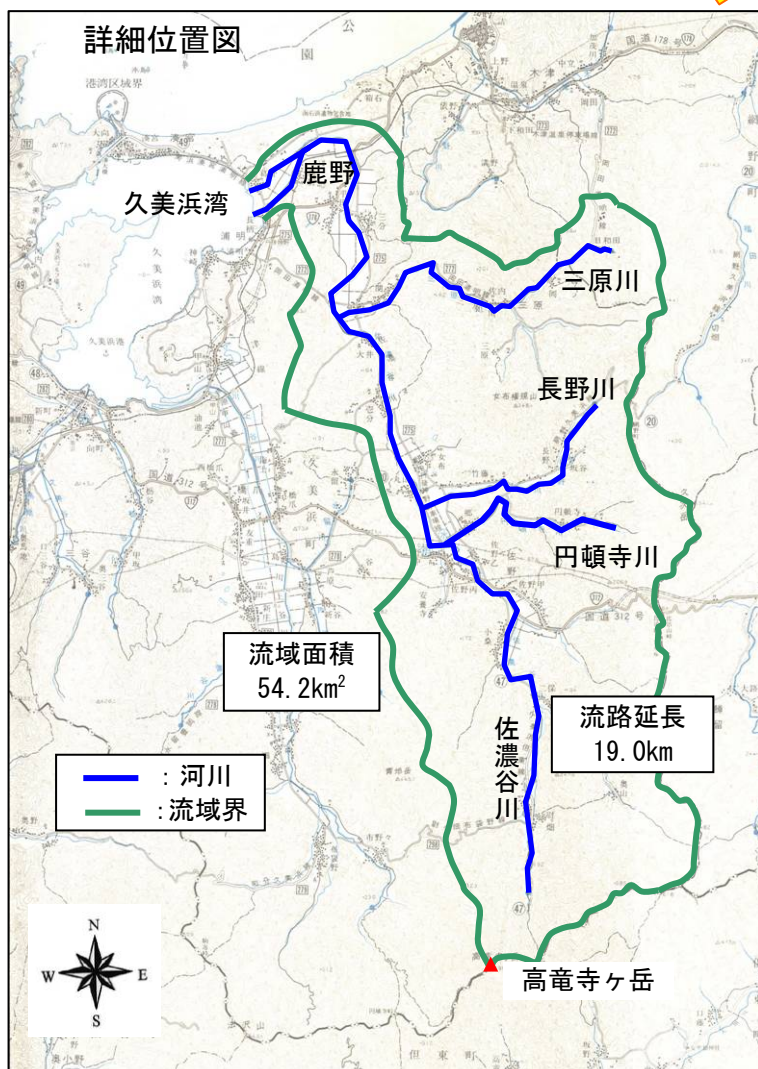
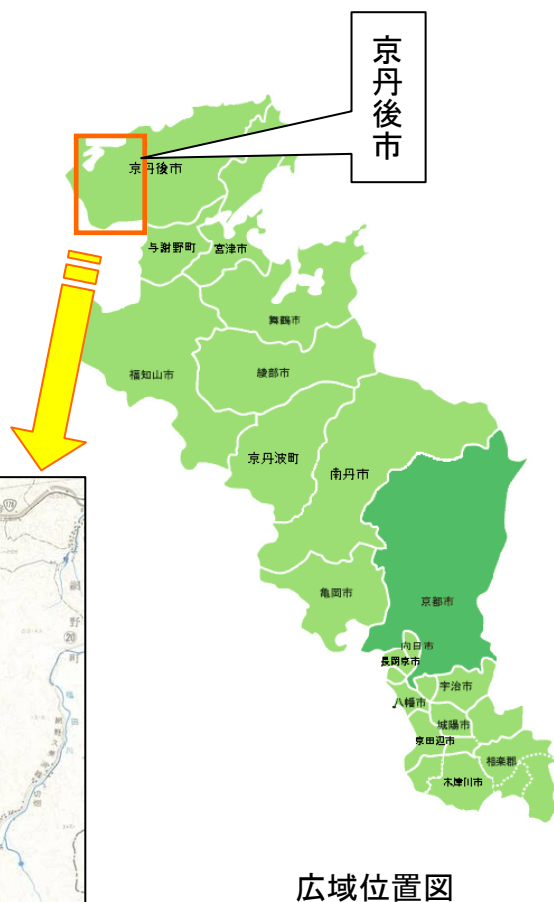


図 1 佐濃谷川流域図

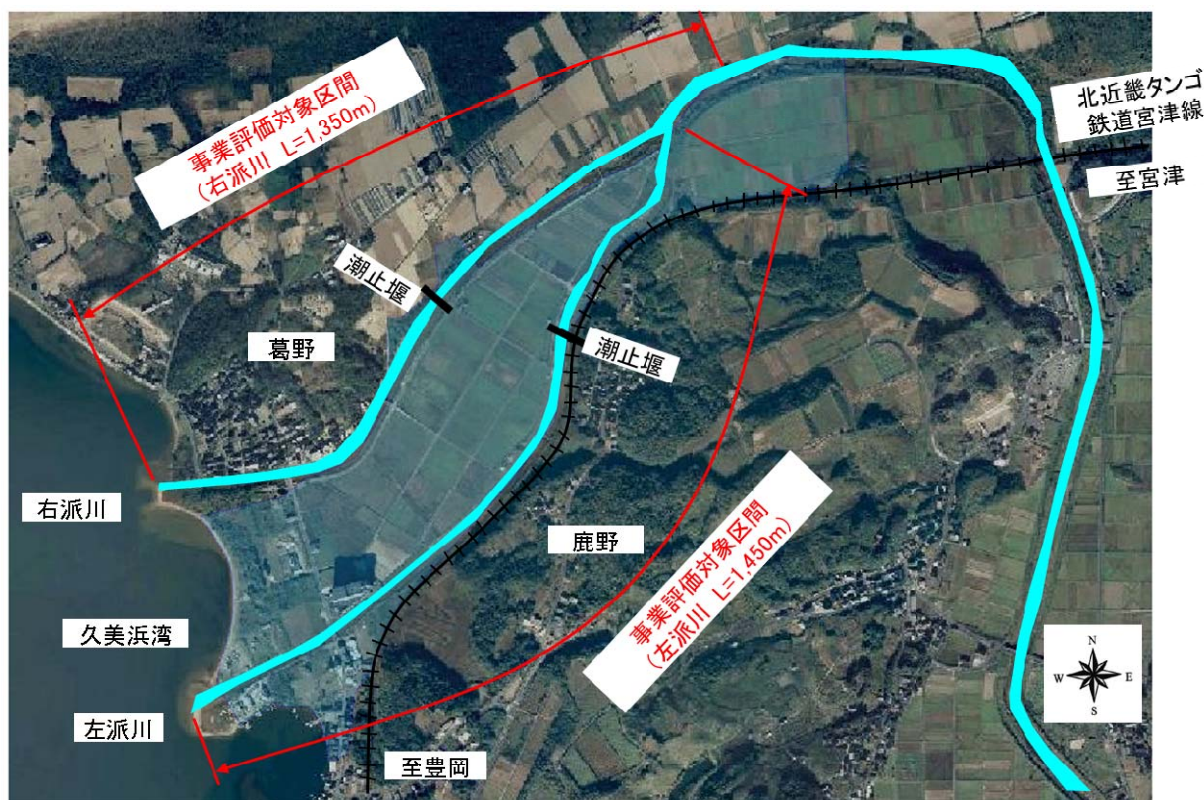
## (2) 事業の目的

佐濃谷川では、昭和47年9月の台風20号による浸水被害を契機として、5年に1回程度発生すると予想される降雨規模に対して生じる洪水を安全に流下させることを目的とする佐濃谷川改良工事全体計画（以下全体計画と表記）が昭和63年に策定された。

しかし、全体計画で整備することは、用地取得等に時間を要することから、緊急性等を踏まえた暫定的な整備として、平成10年9月の台風7号による洪水と同規模の出水を安全に流下させるための河川改修（以下H10年洪水対応と表記）を進めてきた。

## (3) 事業評価対象区間

全体計画区間である右派川<sup>みぎはせん</sup>1,350m及び左派川<sup>ひだりはせん</sup>1,450mの計2,800mを事業評価対象区間とする。




 : 想定氾濫区域(1/5年確率)  
事業着手時の状態の河川に5年に1回程度発生すると予想される洪水が生じた場合、浸水すると想定される区域

図 2 事業評価対象区間

(4) 事業の内容

表 1 事業の内容

項目	内容
河川名	二級河川 <sup>さのたにがわ</sup> 佐濃谷川
事業名	佐濃谷川総合流域防災事業
事業主体	京都府
事業箇所	京丹後市久美浜町鹿野 <sup>きょうたんごしくみはまちょう</sup> ～葛野地内 <sup>かの かずらの</sup>
事業内容	全体延長：L=2,800m（右派川 <sup>みぎはせん</sup> =1,350m、左派川 <sup>ひだりはせん</sup> L=1,450m） 工事内容：河道 <sup>かどう</sup> 拡幅 <sup>かくふく</sup> 、河床 <sup>かしょう</sup> 掘削 <sup>くつさく</sup> 、築堤 <sup>ちくてい</sup> 、橋梁 <sup>きょうりょう</sup> 、潮止堰 <sup>しおどめせき</sup> など
計画流量	320 毎秒立方メートル（以下 $m^3/s$ と表記）
計画対象雨量	60 分間雨量 45mm
治水安全度	概ね 5 年に 1 回程度発生すると予想される降雨規模の洪水を安全に流下させる
上位計画	明日の京都

下線部・・・用語集参照

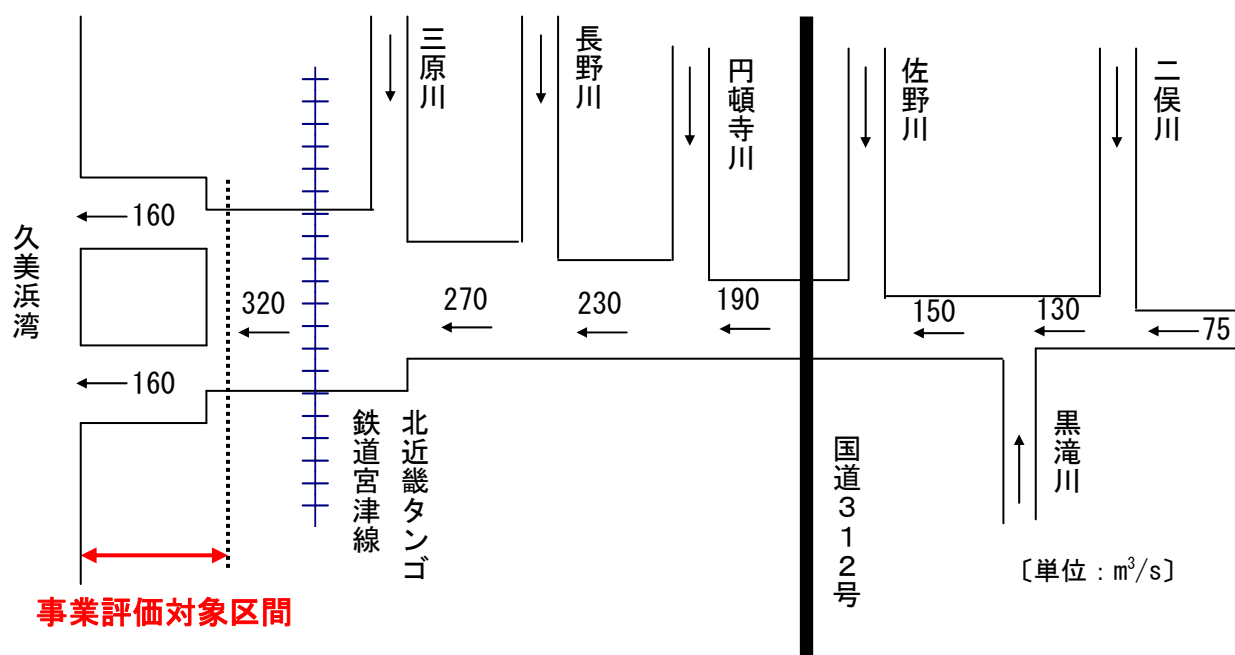


図 3 計画流量配分図

## (5) 既往洪水被害

きのたにがわ

佐濃谷川水系での既往洪水被害は、以下に示すとおりである。

表 1 佐濃谷川水系の主な洪水被害一覧表

水害発生年月日	災害の種類	被害状況					
		浸水面積(ha)			浸水家屋(棟)		
		農地	宅地他	合計	床下浸水	床上浸水	合計
S39.7.15	豪雨	112.0		112.0			0
S42.7.9~12	豪雨	10.0		10.0			0
S47.9.16~17	台風20号	299.0	47.0	346.0	127	47	174
S62.10.15~18	台風19号	6.5		6.5			0
S63.8.24~25	大雨	88.4	0.6	89.0	32	9	41
H2.9.17~20	台風19号	33.5	0.1	33.6	10		10
H10.9.21~22	台風7号	183.7	0.4	184.1	51	10	61
H16.9.28~10.1	台風21号	143.0	0.1	143.1	4	2	6
H16.10.18~22	台風23号	156.0	11.0	167.0	47	29	76
H21.8.8~11	台風9号		0.02	0.02	2		2
H23.5.26~30	台風2号及び豪雨		0.005	0.005	1		1

出典：水害統計

※H10. 9. 21~22 洪水の農地浸水面積は、実績浸水図による計測値

: 近年の主要な洪水被害

## 1) 平成10年9月(台風7号)洪水

平成10年9月に来襲した台風7号は、出合橋観測所で1時間雨量39mmが観測され、床上浸水10棟、床下浸水51棟の被害が発生した。



図4 浸水被害状況(平成10年9月台風7号)

## 2) 平成16年10月(台風23号)洪水

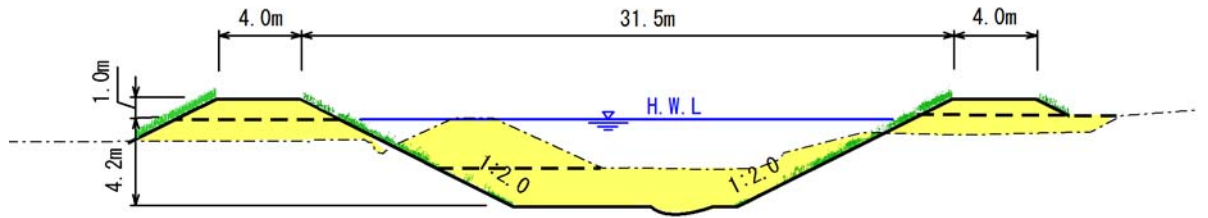
平成16年10月に来襲した台風23号は、出合橋観測所で1時間雨量30mmが観測され、床上浸水29棟、床下浸水47棟の被害が発生した。



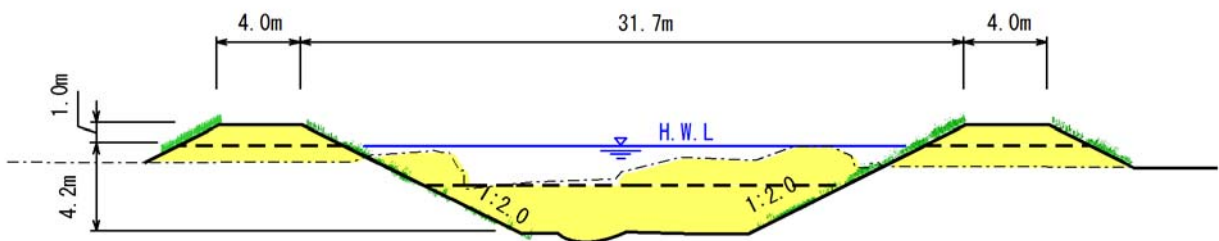
図5 浸水被害状況(平成16年10月台風23号)

(6) 改修計画断面

2割の緩勾配の<sup>どは</sup>土羽構造とすることで、河川環境に配慮した自然植生の回復を図る。



右派川改修計画断面



左派川改修計画断面

凡 例	
——	: 事業計画 (1/5)
- - -	: 暫定計画 (※)
■	: 事業計画 (1/5)

※暫定改修:H10年洪水対応での河道  
拡幅・築堤ライン

図 6 改修計画断面図